



テナントリージョン管理

・テナントリージョン管理 (1 ページ)

テナントリージョン管理

異なるリージョンでのテナントポリシーの展開

Cisco Cloud Network Controller は所有権チェックを適用して、意図的にまたは誤って行われた同じテナントとリージョンの組み合わせでポリシーが展開されないようにします。たとえば、1 つの Cisco Cloud Network Controller (CNC1) がリージョン R1 の AWS アカウント IA1 に展開されており、テナントをリージョン R2 のアカウント TA1 に展開するとします。このテナント展開 (TA1-R2 のアカウントとリージョンの組み合わせ) は、IA1-R1 (CNC1) によって所有されています。別の Cisco Cloud Network Controller (CNC2) が将来のある時点で TA1-R2 の同じテナントとリージョンの組み合わせを管理しようとした場合 (たとえば、CNC2 がリージョン R3 の AWS アカウント IA2 に導入されている場合)、展開 TA1-R2 の所有者は IA1-R1 (CNC1) になります。

これらの制限は、AWS リソース グループを使用して実現されます。次の例は、有効な展開と無効な展開の組み合わせを示しています。

Cisco Cloud Network Controller	テナント	有効性	理由
IA1-R1 (CNC1)	TA1-R1	有効	テナント TA1-R1 は IA1-R1 (CNC1) によって所有されています。
IA1-R1 (CNC1)	TA1-R2	有効	テナント TA1-R2 は IA1-R1 (CNC1) によって所有されています。

Cisco Cloud Network Controller	テナント	有効性	理由
IA1-R2 (CNC2)	TA1-R1	無効	テナント TA1-R1 はすでに IA1-R1 (CNC1) によって所有されています。
IA1-R2 (CNC2)	TA1-R3	有効	テナント TA1-R3 は IA1-R2 (CNC2) によって所有されています。
IA2-R1 (CNC3)	TA1-R1	無効	テナント TA1-R1 はすでに IA1-R1 (CNC1) によって所有されています。
IA2-R1 (CNC3)	TA1-R4	有効	テナント TA1-R4 は IA2-R1 (CNC3) によって所有されています。
IA2-R1 (CNC3)	TA2-R4	有効	テナント TA2-R4 は IA2-R1 (CNC3) によって所有されています。

展開の適用は、インフラテナントとユーザテナントに対して実行されます。CNC1がリージョン R1 のアカウント IA1 に導入されており、リージョン R2 と R3 を管理しようとしている場合、リージョン R1、R2、および R3 の同じアカウント IA1 を管理しようとする別の Cisco Cloud Network Controller (たとえば CNC2) は、許可されません。

テナントリージョンの所有権の検証は、AWS リソースグループを使用して行われます。テナントとリージョンの組み合わせごとに、構文 `CloudAPIC_TenantName_Region` を使用してリソースグループが作成されます (たとえば、リージョン R2 のアカウント TA1 に `CNC_TA1_R2` という名前が展開されている場合)。また、Cisco Cloud Network Controller がリージョン R1 のアカウント IA1 に導入されている場合は、`IA1_R1_TA1_R2` の所有権タグがあります。

次に、`AciOwnerTag` の不一致が発生し、既存のテナントリージョンの導入が失敗する状況の例を示します。

- 最初に Cisco Cloud Network Controller があるアカウントにインストールされてから、削除され、その後 Cisco Cloud Network Controller が別のアカウントにインストールされたとします。この場合、同じテナントとリージョンの組み合わせを再度管理しようとする、既存のすべてのテナントとリージョンの展開が失敗します。

- 最初に Cisco Cloud Network Controller があるリージョンにインストールされてから、削除され、その後 Cisco Cloud Network Controller が別のリージョンにインストールされたとします。この場合、既存のすべてのテナントリージョンの展開が失敗します。
- 別の Cisco Cloud Network Controller が同じテナントリージョンを管理しているとします。

所有権が一致しない場合、Cisco Cloud Network Controller はテナント領域のセットアップの再試行を再度実行しません。他の Cisco Cloud Network Controller が同じテナントとリージョンの組み合わせを管理していないことが確実な場合に、所有権の不一致のケースを解決するには、テナントの AWS アカウントにログインし、影響を受けるリソースグループ (CNC_123456789012_us-east-2 など) を手動で削除します。次に、Cisco Cloud Network Controller インスタンスをリロードするか、テナントを Cisco Cloud Network Controller から削除して再度追加します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。